社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和06年03月12日

計画の名称	安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（２期）（防災・安全）														
計画の期間	平成３０年度　～　令和０４年度　(5年間)											重点配分対象の該当			
交付対象	広島市														
計画の目標	広島都市圏における都市基盤となる骨格道路等の整備を行い、都心及び拠点地区相互を連絡し、都市内交通の円滑化を図るとともに、避難路等を確保し都市の防災機能の向上を図る。 また、歩行や自転車走行の交通環境の向上を図り、安全な通学路等を確保するなど、防災・安全対策に資することにより安全・安心なまちづくりを推進する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	8,302	A	8,302	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H32末	H34末
1	市内の広域避難路に指定されている道路の整備率を高める。			
	広域避難路の整備率 （広域避難路の整備率）＝（広域避難路に指定されている道路の供用済み延長）/（広域避難路に指定されている道路の計画延長）	81%	84%	85%
2	広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「歩行や自転車走行のしやすさなど交通環境の満足度」を向上させる。			
	実態調査の「歩行や自転車走行のしやすさなど」交通の環境満足度調査における全標本数に占める「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数の割合 （交通環境の満足度）＝（「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数）/（実態調査の当該項目の全標本数）	40%	40%	40%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

「交通環境の満足度」の中間目標値及び最終目標値は、”現況水準より向上”に設定する。

案件番号：　0000551463

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	駅前線	道路改良　L＝1.0km	広島市	■	■	■	■	■	2,067		－
	A01-002	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	花都川線	道路改良　L=0.3km	広島市	■	■	■	■	■	634		－
	A01-003	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	山の手線	道路改良　L=1.1km	広島市	■	■	■	■	■	4,086		－
	A01-004	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	青崎畝線	道路改良　L=1.5km	広島市	■	■	■	■	■	308		－
											小計						7,095		
住環境整備事業	A16-005	住宅	一般	広島市	直接	広島市	－	－	広島西部丘陵都市（石内地区）住宅市街地基盤整備事業	道路改良	広島市	■	■	■	■	■	1,207		－
											小計						1,207		
											合計						8,302		

案件番号：　0000551463

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
道路交通局道路部街路課で評価を実施	令和６年３月
	公表の方法 広島市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市内の広域避難路に指定されている道路の整備を進めることで、都市の防災機能の向上を図ることができた。 歩行や自転車走行の交通満足度については評価時点において未整備の箇所が存在したため目標数値に達していないものの、今後事業を進めていくことで、効果が発現することが期待される。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

要素事業の都市計画道路駅前線、花都川線、山の手線、青崎畝線及び、広島西部丘陵都市（石内地区）住宅市街地基盤整備事業については、安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（３期）に移行して引き続き整備することで、都心及び拠点地区間相互を連絡し、都市内交通の円滑化を図るとともに、避難路等を確保し都市の防災機能の向上を図る。また、歩行者や自転車走行の交通環境の向上を図り、安全な通学路等を確保するなど、防災・安全対策に資することにより安全・安心なまちづくりを推進する。
整備効果の発現状況については、２つの定量的指標（①市内の広域避難路に指定されている道路の整備率を高める②歩行や自転車走行のしやすさなど交通環境の満足度を向上させる）で確認する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	市内の広域避難路に指定されている道路の整備率を高める。		
	最　終 目標値	85%	市内の広域避難路に指定されている道路の整備を進めることで最終目標値に達した。
	最　終 実績値	85%	
2	広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「歩行や自転車走行のしやすさなど交通環境の満足度」を向上させる。		
	最　終 目標値	40%	一定の満足度は得られたが,目標値までは達成しなかった。未整備箇所や工事中箇所の仮設歩道等の通行が要因と考えられる。引き続き事業を進めることで最終目標値に到達する見込みである。
	最　終 実績値	34%	